

# 2024 年度 環境経営レポート

(対象期間： 2024 年1月1日～ 2024 年12月31日)



® 環境省

エコアクション21

認証番号0011277



垣本建設工業株式会社

[kcm - kakimoto.jp](http://kcm-kakimoto.jp)

作成日： 2025年1月31日  
更新日：

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4～5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8～14
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	15
緊急事態対応訓練	16
代表者による全体の評価と見直し・指示	17
これまでの環境活動の紹介	18～19

## □ごあいさつ

当社で作り上げる住宅は環境保全を重視し、機械装置に頼らず自然な光・風を取り入れた高断熱で高気密な住宅をテーマにお客様に提案しています。  
また、地域のインフラを担う企業として水道管破裂や災害時に即対応できる体制を整え、資源を守る企業として地域に貢献していきたいと思っております。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

垣本建設工業株式会社は、総合建設業としての事業活動を通して地球全体と地域周辺の環境保全に全社一丸となって取り組みます。

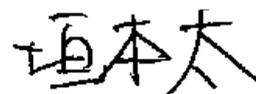
### <環境保全への行動指針>

1. 環境経営に自主的、積極的に取り組む為に下記項目について、環境経営目標、環境経営計画を定め定期的に見直しを行い、環境経営の継続的な改善を行います。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減を積極的に行う。(ガソリン、軽油、電気)
  - ② コピー用紙の削減及び再利用を行う。
  - ③ 一般廃棄物、建設廃棄物を含む総廃棄物の削減・リサイクルを推進する
  - ④ 水・電気資源の節約に努める。
  - ⑤ 省エネ・省資源住宅の販売を促進する。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日：2015年9月10日

改定日：2023年5月23日

垣本建設工業株式会社  
代表取締役



## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
垣本建設工業株式会社  
代表取締役 垣本 太
- (2) 所在地  
本 社 兵庫県丹波市氷上町上成松188-8  
資材倉庫 同上  
資材置き場 //  
ショールーム 兵庫県丹波市氷上町本郷300 丹波ゆめタウン2F  
sumika lab
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 垣本 太 環境管理責任者 TEL:0795-82-1201  
担当者 拝野 康規 環境事務局 TEL:0795-82-1201
- (4) 事業内容  
総合建設業（土木・建築・ほ装・水道施設・地盤改良）及び不動産業
- (5) 事業の規模  
売上高 83,254 万円
- |                      | 本 社                 | 資材倉庫                | 資材置き場              | 合計   |
|----------------------|---------------------|---------------------|--------------------|------|
| 従業員 名                | 17 名                | 無人                  | 無人                 | 17   |
| 延べ床面積 m <sup>2</sup> | 1744 m <sup>2</sup> | 1000 m <sup>2</sup> | 500 m <sup>2</sup> | 3244 |
- (6) 事業年度 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日

## □認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名: 垣本建設工業株式会社  
対象事業所: 本 社  
資材倉庫  
資材置き場
- 対象外: ショールームsumika lab(2026年度に拡大予定)
- 活動: 総合建設業（土木・建築・ほ装・水道施設・地盤改良）及び不動産業

## □事業の紹介

住宅事業部（イノスの家、sumika labの家）

地盤改良部



sumika lab (スミカ ラボ)

住宅 新築・リフォーム・リノベーション専門ショールー



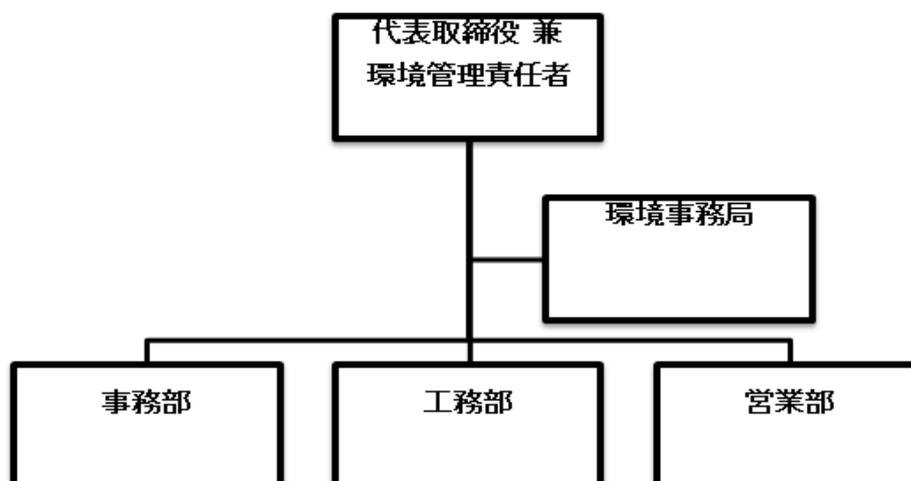
公共 建築・土木



除雪業務

・パトロール ・凍結防止剤散布 ・除雪作業





	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境経営活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	77,818	98,809	67,592
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0.353	0.297	0.498
産業廃棄物排出量(工事現場分)	トン	4.1	21.5	3.2
総排水量	m <sup>3</sup>	246.3	112.0	81.0

※二酸化炭素排出係数 0.311 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力の2021年度の調整後排出係数  
 ※負荷の実績は 工事現場分電力使用分 1,156 kg-CO<sub>2</sub>と灯油使用分 1,057 kg-CO<sub>2</sub>を含む。

□環境経営目標及びその実績

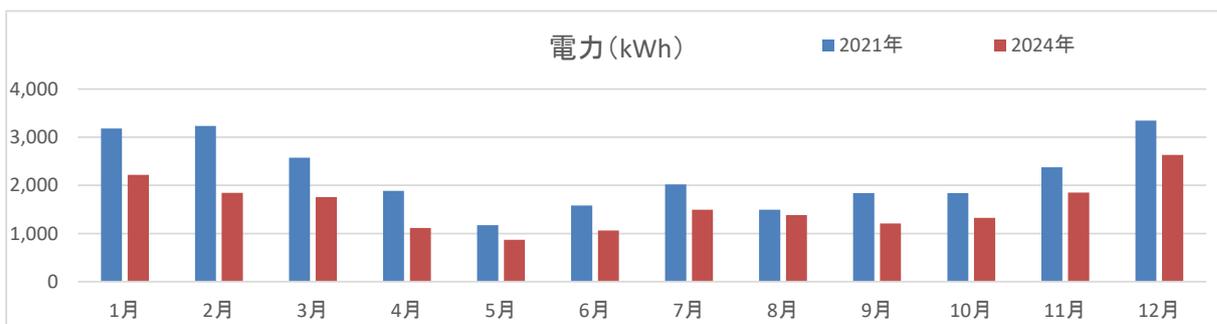
項目	年度	基準値	2024年		評価	2025年	2026年
			(基準年)	(目標)		(実績)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	8,098	7,936	5,831	○	7,855	7,774
	基準年度比	2021年	98%	72%		97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	87,236	85,492	59,548	○	84,619	83,747
	基準年度比	2021年	98%	68%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	95,334	93,427	65,379	○	92,474	91,521
一般廃棄物の削減	kg	190	184	498	×	184	182
	基準年度比	2021年	97%	262%		97%	96%
建設副産物の再資源化率の向上	%	90%	91%	99%	○	92%	93%
コピー紙の削減	枚	85,000	83,300	81,250	○	82,450	81,600
	基準年度比	2021年	98%	96%		97%	96%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	99	97	81	○	96	95
	基準年度比	2021年	98%	82%		97%	96%
省エネ・省資源住宅販売促進	□環境経営計画の取組結果とその評価欄に記載						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
<b>電力による二酸化炭素削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	達成。数値目標は昨年並みに設定したが、数値としてもやや下がった。 熱中症対策とのバランスを取りながら、事務所内の空調機温度設定を厳守する。 今後も、個人での節電意識を全社員に周知し継続して環境負荷削減活動を進めていきたい。 年間で、前年と同数値の維持を目標にする。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・工期短縮	○	

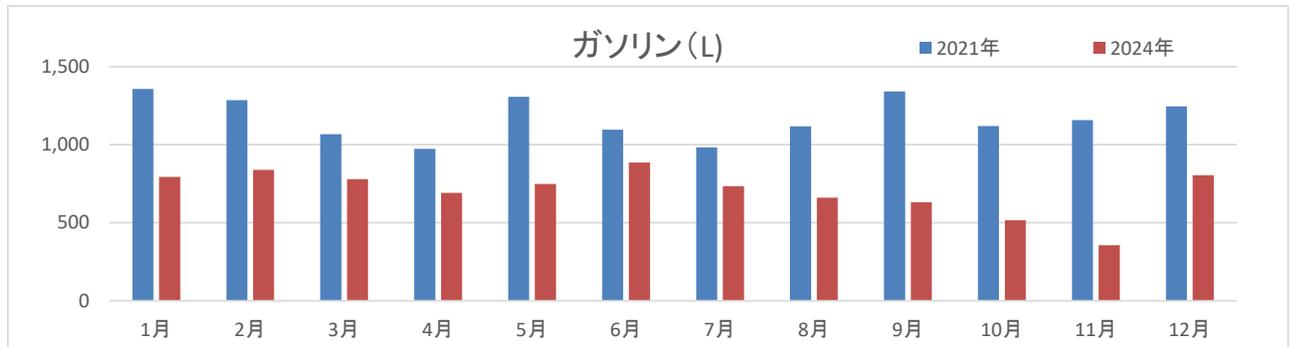


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	3,178	3,231	2,574	1,887	1,174	1,581	2,018	1,493	1,837	1,837	2,376	3,344
2024年	2,218	1,843	1,754	1,113	870	1,063	1,491	1,385	1,207	1,324	1,851	2,630

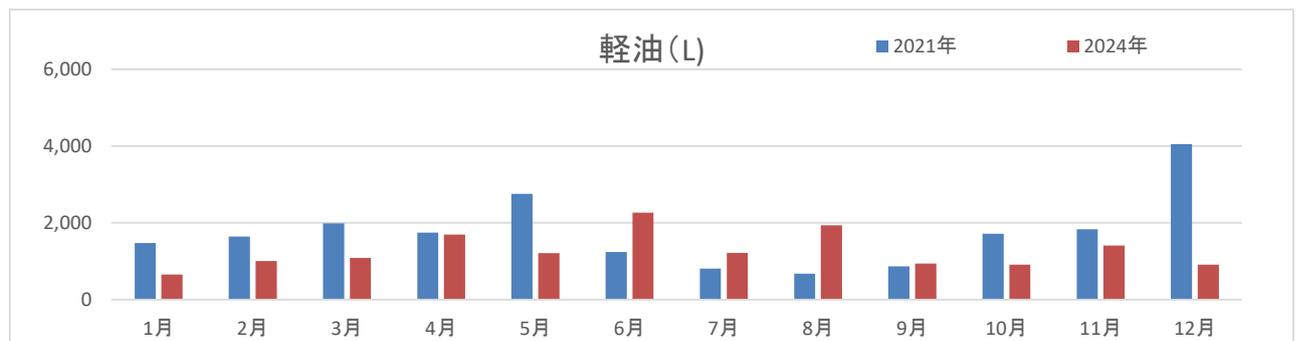
事務所内  
空調温度設定  
LED照明



自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	達成。
・アイドリングストップ	○	近隣地域での工事がメインとなり、ガソリンの使用量は減少した。
・現場入り時は乗合をする	○	来年度にかけて本格化する工事、受注予定工事が複数あるため、軽油使用量は増加が見込まれる。
・重機使用時はエコモード運転	○	今後も、現場入場時等は乗り合わせで行き、エコモードで使用する。車両入替時に低燃費車を導入する。年間で、前年と同数値の維持を目標にする。

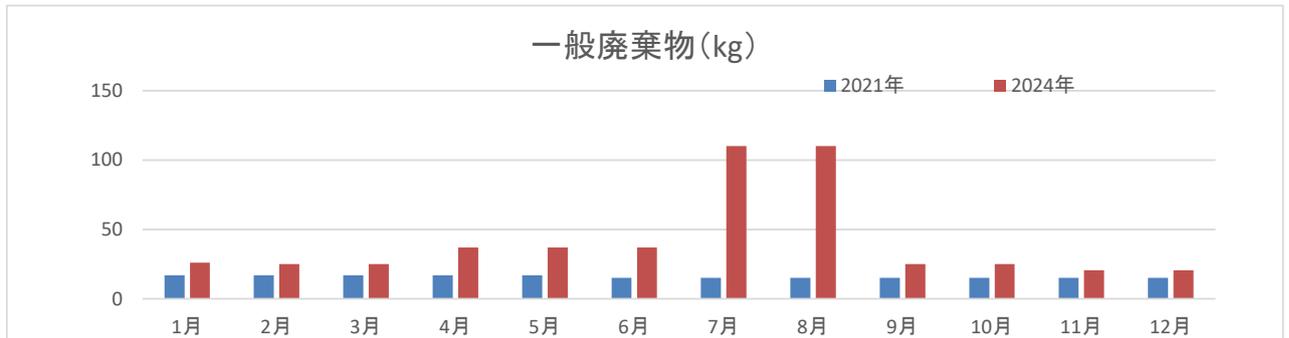


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	1,358	1,286	1,068	974	1,307	1,096	983	1,117	1,342	1,120	1,158	1,246
2024年	793	839	780	690	749	885	735	661	631	516	357	805



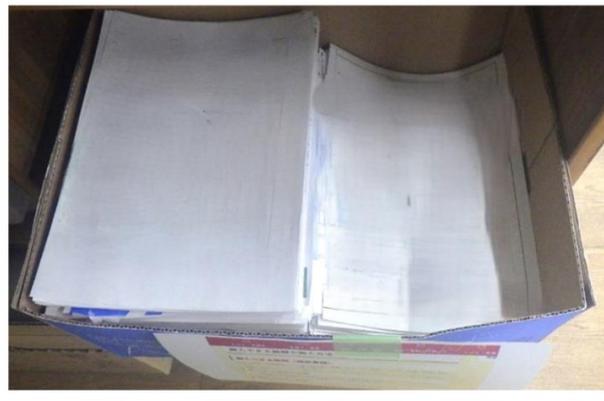
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	1,473	1,646	1,985	1,745	2,756	1,244	807	679	869	1,719	1,831	4,053
2024年	652	1,003	1,089	1,691	1,208	2,264	1,217	1,933	940	912	1,406	909

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	未達成。
・分別の徹底	△	7月以降、機密文書の分別を開始。(丹波市クリーンセンターへ持込→溶解処分→リサイクル)
・廃棄書類のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	燃やすごみの減少、シュレッダーごみ(リサイクル不可)の減少を目指す。
・梱包材の再利用	○	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	17	17	17	17	17	15	15	15	15	15	15	15
2024年	26	25	25	37	37	37	110	110	25	25	21	21

○廃棄書類分別  
市のクリーンセンターへ持込  
→リサイクルへ



搬入できる紙類や搬入方法

5/25

搬入できる紙類(機密書類)

コピー用紙、連続帳票、ノンカーボン紙、写真、レシート、名刺、ハガキ、付箋、封筒、段ボール等  
(複写用紙)

(補足) 紙製のファイルに、綴じひも、クリップ、粘着テープが付いていても搬入可能です。

搬入する場合の形態

- ・段ボール箱に入れクラフトテープで梱包し、機密文書が飛散しないようにしてください。
- ・箱詰めのまま溶解するので、シュレッダー処理は不要です。
- ・金具がついた段ボールは、金具をはずして搬入してください。

搬入できない紙類

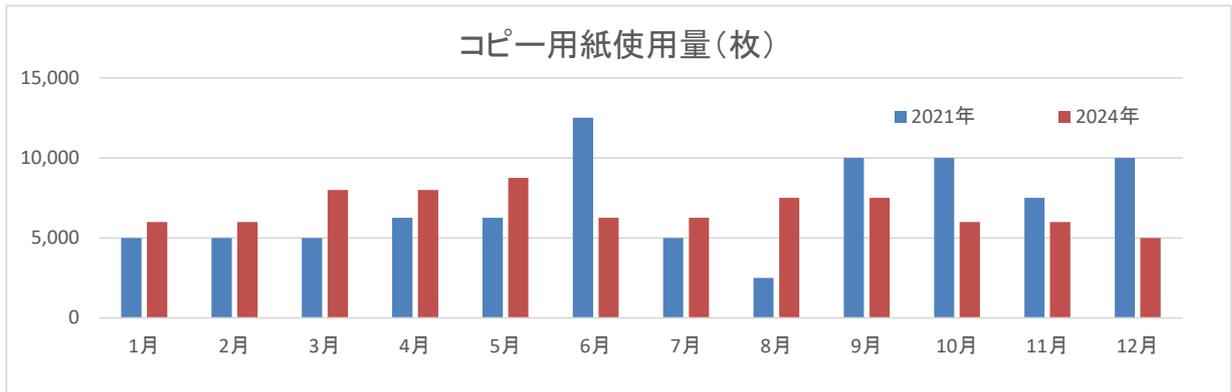
- ・フィルム用紙、油紙、ワックス加工品、ウェットティッシュ
- ・電池ステロール、ガラス、プラスチック、布製品等の紙以外のもの
- ・ICラベル、ICタグが入ったもの(商品券、クーポン券、チケット、アパレルタグなどに入っています)

廃棄書類の分別にご協力をお願いします

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	達成。受注工事の種類によってリサイクル率が変動するが、分別の徹底により今後もリサイクル率を高めていく。
・分別コンテナ(ボックス)の設置	○	
・工事現場での分別の徹底	○	前年と同数値の維持を目標にする。

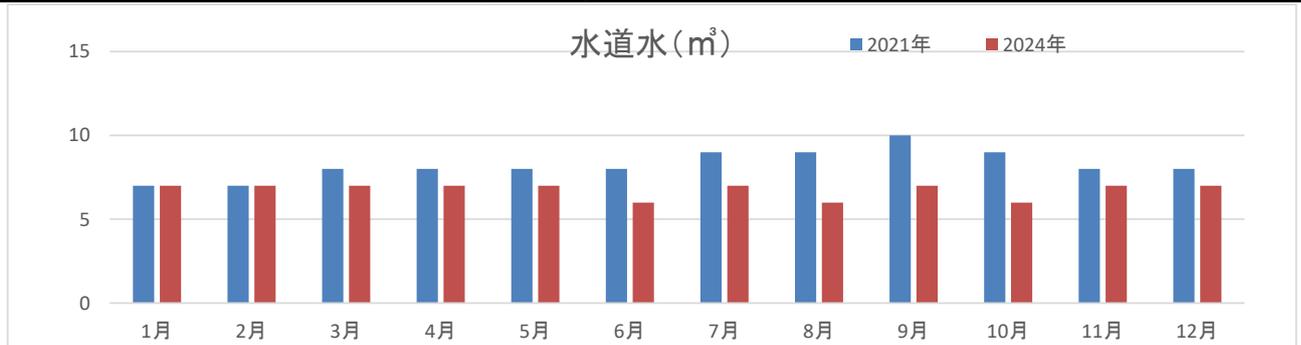
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
廃棄物量(月別)	5.7	7.0	8.1	21.8	49.4	19.4	10.2	170.4	2.6	113.3	12.7	9.2
リサイクル量(月別)	5.6	6.2	8.0	21.5	49.2	19.3	10.2	170.3	2.0	113.3	11.7	9.1
リサイクル率(月別)	98%	89%	99%	99%	100%	100%	100%	100%	77%	100%	92%	99%

コピー紙の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	未達成。年間総使用量としては例年並み。
・両面コピーの徹底、集約、縮小コピー活用	○	今後も、ミスコピーをなくす、ネットワークハードディスク(NAS)の活用等
・社内で使用する各種資料は特別支障のない限り極力両面コピーとする	○	を続け、紙の分別方法及びデータ共有方法のマニュアル化を検討する。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	5,000	5,000	5,000	6,250	6,250	12,500	5,000	2,500	10,000	10,000	7,500	10,000
2024年	6,000	6,000	8,000	8,000	8,750	6,250	6,250	7,500	7,500	6,000	6,000	5,000

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	達成。
・手洗い、洗い物時の節水の励行	○	例年よりやや使用量が減少。今後も社内に周知徹底して継続していききたい。
・建設機械洗浄時の井戸水の使用	○	
・雨水利用による植木の水やり	○	

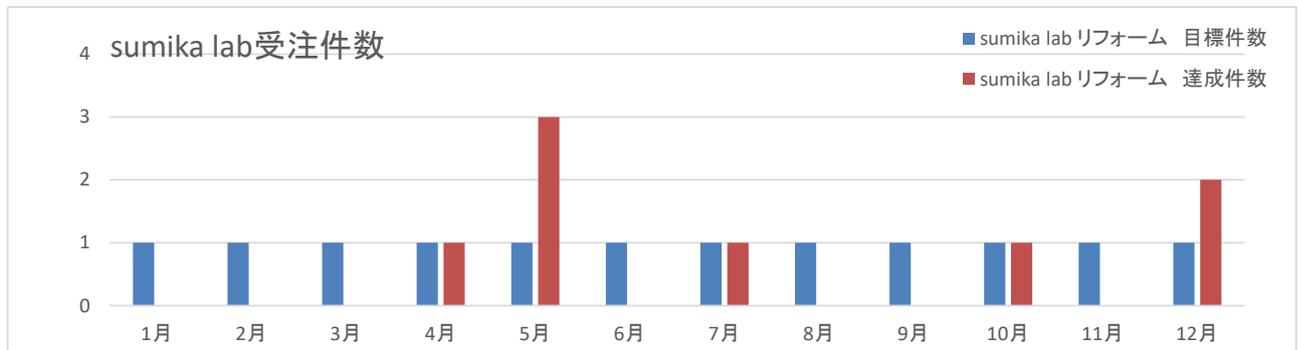


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	7	7	8	8	8	8	9	9	10	9	8	8
2024年	7	7	7	7	7	6	7	6	7	6	7	7

手洗い場  
 ・井戸水の使用  
 ・節水シールによる周知



省エネ・省資源住宅販売促進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	新築・リフォーム共に、環境に配慮した住宅の受注目標件数を掲げることにする。 住宅の受注は0件であったが、リフォーム工事はほぼ目標どおりの受注件数であり、ショールームの運営による新規顧客の獲得、既存顧客への営業活動の成果が出ている。 今後も、省エネ基準に適合した住環境を提案していく。
新築 受注目標棟数	4	
新築 受注棟数	0	
sumika lab リフォーム 受注目標件数	12	
sumika lab リフォーム 受注件数	8	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
sumika lab リフォーム 目標件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
sumika lab リフォーム 達成件数	0	0	0	1	3	0	1	0	0	1	0	2

#### 取組紹介欄

#### イノスの家

☆使用断熱材 : フォームライトSL

高气密・高断熱

施工期間が短い(1~2日)

フロンを使用していない

ガス有害性試験に合格

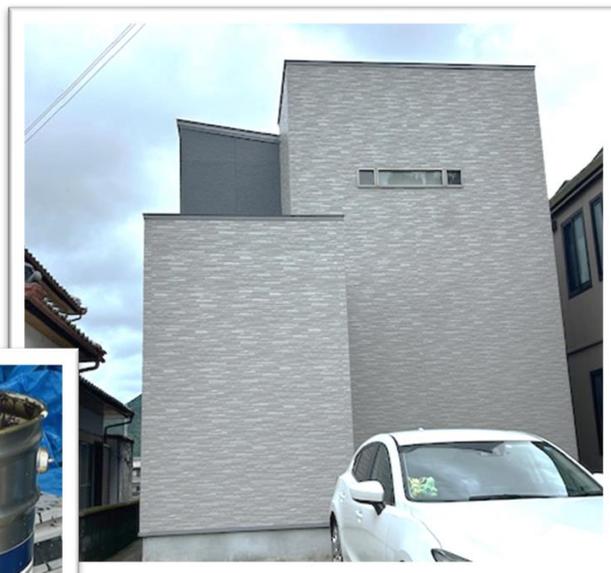
揮発性有機化学物質(VOC)を発生しない





## sumika labのリフォーム（屋根・外壁塗装）

耐候性、遮熱性に優れた塗料  
☆スーパーシャネツサーモ  
☆リファイン1000MF-IR  
紫外線や雨風に強く、美しさも長持ち  
室内温度の上昇を抑える効果



## sumika labの家、リフォーム（給湯器）

エコキュート（高効率給湯器）  
・エネルギー消費量、Co2排出量が少ない  
・電力のピークカット



## sumika labのリフォーム（内窓）

断熱窓（プラマードU）  
・断熱性を高め、暑さ・寒さ対策



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	産廃収運業許可取得、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、廃油等)、水銀廃棄物の適正処理
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	建設機械
振動規制法	建設機械
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機
小型家電リサイクル法	小型電子機器28品目
自動車リサイクル法	廃自動車
プラスチック資源循環促進法	廃プラスチックの適正処理(リサイクル化)
消防法(危険物)	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検(3ヶ月に1回)、廃フロンの適正回収
労働安全衛生法	SDSが義務化された物質
グリーン購入法	事務用品
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2024/11/23	■実施場所: 本社2階 会議室
■参加者: 全社員	■実施内容: ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価: 通報、消火の方法、避難方法について協議し、確認を行う。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定: 悪天候時の災害	
■実施日: 2024/11/6	■実施場所: ゆめタウンクリニック棟新築工事現場
■参加者: 全社員	■実施内容: ・指揮者による重機作業者への誘導、複数人での安全確認等、悪天候時の作業の流れを確認
■評価: 悪天候時にどう対応するか、現場にてパトロールを行い、災害に備えることができた。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年1月27日

【前回の指示への取組結果】	
住宅ショールームを活動範囲に加える必要がある。負荷の削減の数値目標ではなく、「環境に配慮した」リフォームおよび新築住宅の受注数を目標数値として掲げることに変更する。	
ka	＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化  （社会的情勢、利害関係者の要求等） 原材料価格の高騰 人手不足	◇環境経営方針  変更なし
◇環境経営目標・計画の達成状況 ・電力使用量、水道使用量は減少、自動車燃料(軽油)使用量、一般廃棄物の排出量は増加(前年比) ・新築住宅の受注実績はなし、リフォーム工事はコンスタントに受注している	◇環境経営目標・環境経営計画  変更なし
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 → なし ・環境上の問題点等 → なし	◇実施体制他  変更なし
土木資材置き場の整備に伴い、会社敷地内にストックヤードを設けることにより運搬コストや工期コストを下げ、緊急工事に対応できる体制が整えられている。 事業面では、昨年度からの大型公共工事の完成、既存顧客から住宅リフォーム工事および企業からの建物補修等もコンスタントに受注している。 また、無人ショールーム営業による外壁改修、浴室、キッチンリフォームの新規受注件数も目標どおりとなり、効果が出ている。	
代表取締役 垣本 太	

## これまでの環境活動の紹介

### 【sumika lab (スミカ ラボ)】ショールーム

- 新築・リフォーム・リノベーション
- 丹波市産材使用住宅
- 無人営業



ショールームにスタッフは常駐していません



【会社南側敷地】（自社施工）

- 資材（砕石、栗石、砂）置き場完成  
→資材ロスの削減、調達に係る燃料の削減を図る
- 社員駐車場完成

